



人口減少を食い止めるアイデア編

やまと市民討議会

開催結果概要

「やまと市民討議会～人口減少を食い止めるアイデア編」を開催しました！

これから大和市が迎える「人口減少」をどうすれば食い止められるか、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、平成 27 年 10 月 3 日（土）に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民 3,000 名に案内を送付しました。

当日は、抽選で選ばれた 33 名の方と市内高等学校 5 校から生徒 10 名が参加しました。



市民討議会の様子

午前のグループワークのまとめ

大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

- ・ 保育所などの子どもを預けられる施設が不十分
- ・ 治安に不安があり安心して子育てできる環境でない
- ・ 出会いの機会やコミュニケーション力の不足から、若者の恋愛離れが進んでいる
- ・ 魅力的な職場や学校が少なく、若者が転出するきっかけとなっている
- ・ 保育費や教育費を賄っていけるのか、経済的な不安がある
- ・ 子どものいない夫婦生活を選択する人が増えている
- ・ 地域とのつながりが薄く、市への愛着を持たない人が増えている
- ・ 出産後に仕事復帰できるか心配

など

人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

- ・ 市のサービスをアピールして、支援策の認知度を高め、市のイメージアップを図ろう
- ・ 保育所・病児保育に対応する施設の増設、保育・教育費の補助、遊び場の充実など、子育てに魅力を感じるまちにしよう
- ・ 婚活イベント、リノベーションした空き家の紹介、子育て支援など結婚から子育てまで連続して支援し、大和市に家族を増やそう
- ・ イベントやボランティア活動を通じて、地域のコミュニケーションを活発にし、リアルな人間関係のあるまちにしよう
- ・ 子どもが多くても、子育てや介護を心配せずに大和市内で仕事ができる環境をつくろう

など

午後のグループワークのまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号

課題

解決アイデア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

テーマ① 子育て支援環境をもっと充実させるためには

1グループ	子育て支援に関する情報が不足している	子育て支援情報の発信、入手をスムーズにするためのアプリを開発し、繰り返し発信しよう	2グループ	大和市の子育て施設や支援制度を把握していない市民が多い	子育てに関するホームページを充実させ、「子どもが〇歳」と検索すると、受けられる制度や支援などの一覧が出てくるようにしよう
	緊急時の子どもの預け先など、子育て層の求める支援メニューがない	すぐやる課、何でも相談室を設置しよう 子育て層の支援ニーズ把握のために、市民討議会の継続的实施、若者を巻き込んだプロジェクトチームを発足し、取り組もう		SNS や掲示板、ゆるキャラを利用した情報発信があるといい	駅やスーパーに電子掲示板を設置して、情報を迅速に更新、PC やスマホを見れない人にも伝わるようにしよう
	日頃、ご近所付き合いなど、地域でのコミュニケーションが不足している	空き家や大きな家を活用して、昔の大家族のようなあたたかみのあるシェアハウスをつくらう		地域のコミュニティ力を強め、子育てでいざという時に頼れる人がいるとよい	コミュニティセンター主催の親子向けイベントなどで、ネットワークづくりを。子育てする若い家族を地域で支援することについて考えるワークショップを行おう
	日常でも、子どもを育てる(預かる)環境がない	コミュニティセンターのより一層の充実と活用をしようー子育て支援の可能性を身近な市の施設で探るー		ママのネットワークを強めてお互い助け合えるようにできないか	互助につなげるため、集える公園を充実させる。やまとん号で泉の森に行けることをアピールしよう
			住宅を取得して年数の経った人に出産お祝金を出し、転出を防げないか	金銭面が不安な若い親が多いので、3人目以降の出産には市からお祝い金の制度があるとよい	

テーマ② 定住できる環境（住宅・雇用）や、経済的不安を解消するアイデア

3グループ	核家族化の進行 地域コミュニティが希薄で支えあえない 家賃が高くて住めない	スーパの冷めない距離での多世帯の居住や二世帯住宅・多世帯住宅など、「近居・同居」の大和スタイルをつくらう	4グループ	若い人に魅力的な生活環境が不足している	若い人に選ばれる生活環境として、高齢者や高校生もボランティアとして子育てのサポートに関わる仕組みをつくる	
	子どもの遊び環境が悪化	楽しく育った思い出のあるまちには将来戻ってきたいくなるので、子どもが安全で自由に遊べる環境をつくらう		高齢者が子育て世代の相談にのり、手伝える施設や仕組みが必要		
	収入が少なく定年後の経済的な安定につながらない	高齢になっても安心して住み続けられる環境づくりにより、家族と一緒に住めるまちになり、税収の確保にもつなげよう		高校生も子育てサポートや交流ができるとよい		
	高齢になっても自立して安心して住み続けたい			住宅を若い人に安く提供できないか		市営住宅に住む若い世代の収入条件を緩和して、若い人たちにとどまってもらえるようにしよう
	子育てにお金がかかりすぎる	北部の保育所の充実や養育費の補助、子育て施策のPRを通じて、市のフォローがあり、安心して子育てできる環境づくりを進めよう		定住したいと思う魅力は既にある		定住できる魅力的な環境はすでにある！ことをPRしよう
産休後の仕事への復帰、子育てと仕事の両立が課題		定住に結びつく教育環境の充実が必要	特殊な技術を学べる専門学校を誘致し、学びからまちの雇用につなげよう			
市内の企業が少ないので、雇用の拡大が必要	商店街の空き店舗を活用して、新しいお店を誘致し、身近な雇用を生み出そう	魅力あるユニークな企業を誘致し雇用を生み出す工夫が必要	「特区」をつくって、小さくても魅力ある企業を誘致し、「〇〇のまち大和」でたくさん雇用を生み出そう			
		出産後も定年後も活躍できるまちにすべき	企業と多様な働き手をマッチングしよう			

テーマ③ 子育てしやすくなるような魅力を見つけ、伝え、UPするアイデア

5 グループ	男性による子育てのよさを見える化して発信することが必要	結婚しなくても子どもを持てる、「男性による子育てはカッコいい」ブランドをつくろう	6 グループ	ウリになる景色、自然、スポット、イベントがあり、都心へのアクセスのよさがあることを活かさないか	バリエーション豊かなまちの資源を、地域にゆかりのある企業とタイアップして、工夫あるPRをしよう！
	子育てしながら働けるまちの環境やイメージづくりが必要			縦に長い特徴や興味深い歴史がある	「大和市」の魅力のPR方法は、色々な方法がありそう！
	国際交流に力を入れて、国際的なイメージを形成	大和の資源を生かして国際交流に力を入れたグローバルな子育てができるまちブランドをつくろう		地場の野菜、果物が豊富である	既存の方法以外の工夫に知恵を出そう！
	子どもを産み育てるための意識啓発のイベントの充実が必要	コミュニケーションを重視した子どもを産み育てるための意識改革イベントを開催しよう		公園は点在しているが、もっと魅力的な活用ができないか	自然・公園・施設など、「親」と「子」で一緒に遊べる場所を増やそう
	大人も子どもも楽しめる場所がない	泉の森を活用して親子の遊び場を確保しよう		親子で遊べる場や機会を充実できないか	
	HPでの子育てなどに関する情報発信を充実させ、分かりやすく、他市との比較をしやすい必要がある	大和市内、市外を問わず、大和市の子育ての魅力発信するため、既存のHPを直感的に分かるように改善しよう		災害に強く、移動しやすい平坦な土地	「自転車でもどこでも行ける」「ベビーカーも移動しやすい」という平坦な地形の便利さを伝えよう！
大和市独自の取り組みのアピールが足りない		歩きやすい安全な移動手段があるといい			
6 グループ	医療・福祉・教育の環境が整っている	学校以外でも、「寺子屋」など、様々な子どもの学びの場を選択できる環境をつくろう	犯罪の少なさ、地価の安さ、活気ある商店街等の魅力を人口増加につなげられるとよい	「子育てがしやすいまち」だと気づこう！住民自身が口コミでPRしよう！	

テーマ④ 若者が出会う場や機会をつくろう

7 グループ	面と向かわずとも会話できるツールがある	色んな人、世代が会って語り合える交流の場をつくっていこう	8 グループ	若者向けのイベントが少ない	小さいころから社会人まで繋がっている学校だけにとどまらないコミュニケーションの場を増やす。スポーツ、音楽など文化活動、ボランティア、防災活動。
	ゲームなど、一人で遊ぶ楽しみが多い			若い人が集えるところが少ない	若者が気軽に集えるスポーツや文化センターなどの場を作り、若者主体を行政・企業・市民が支える仕組みで運営する
	個人情報扱えず、世話焼きができない	「大和ですっと住み、働き、学ぶ！」をスローガンに、大和で結婚相談センターや相談員を設置しよう		(地元)魅力を感じられない	大和市への愛着を向上させるべく地元タレントなどを企画し、ファン同士の交流などを仕掛ける
	人と積極的に触れ合わない	大和が行っている様々な取り組みをまとめ、情報発信していこう		学生は勉強や部活で忙しくて時間が無い	若者の企画を実現できるイベントを学校行事に組み込むなど時間が無くても参加しやすい形で行う
	勉強や日々の生活の忙しさから、友人とのコミュニケーション力が低くなる	地域のイベントに積極的に参加し、出会いを増やせるよう、色んな世代が主体的に関われる環境づくりをしよう			
	恋愛の楽しさを知る機会がない				
学生は男子は弱体化し、女子は自信ありな人が多い！	恋愛や結婚の大切さを知ってもらう機会を学校教育に取り入れよう				
結婚相手や恋愛相手の理想が高くなる情報が溢れている					
会社でのコミュニケーションが少ない	コミュニケーションが円滑でない中小企業に対して、大和が出会いの場や育児支援を促そう				

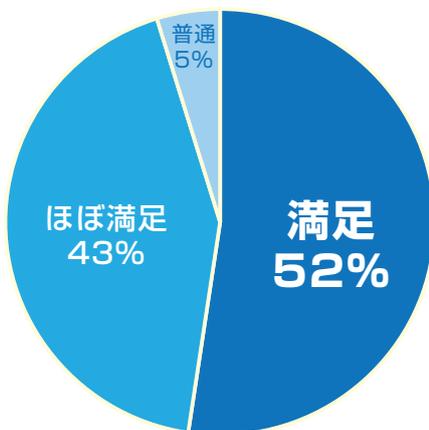


④ 当日のプログラム

時間	実施内容	時間	実施内容
9:30	受付開始	13:20	市長あいさつ 午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認
10:00	開会のあいさつ・市民討議会の目的について		
10:10	大和市の人口を取り巻く環境	13:30	午前中に出された意見を受けて、8グループ（6～7人）に分かれて、各グループが1つのテーマについて、意見交換を行います。 [テーマ例] テーマ①：「出会い」 テーマ②：「仕事」 テーマ③：「子育て」 テーマ④：「教育・意識啓発」
10:30	本日の進め方の説明		
10:50	8グループ（6～7人）に分かれて2つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。 テーマ①：大和市で人口が減っている原因を出し合おう テーマ②：人口減少を食い止めるためのキーワードを出し合おう		
11:50	グループ成果の発表	15:30	グループ成果の発表
12:20	昼食・休憩	15:55	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
		16:15	閉会のあいさつ・アンケート記入

④ 参加者の感想

<市民討議会への満足度>



<主な感想>

- ・あまり考えることのないテーマで様々な年層の方とお話してきたのがとてもよい経験になりました。
- ・自分でも気付かない大和情報が聞けた。
- ・若い人達の真剣な熱いエネルギーを感じました。
- ・思った以上のアイデアが出て良かった。
- ・気負わずにリラックスして意見を言うことができた。皆さんの立場でのお話も聞けました。
- ・様々な、新しい発見、体験が出来、大きな人生勉強になりました。ありがとうございました。

④ 今後の取り組みについて

今回の市民討議会で頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見として取りまとめ、今後、「大和市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定をはじめ、市の施策展開・検討等の参考としていきます。また、報告書は平成27年12月頃に市ホームページに掲載予定です。

URL: <http://www.city.yamato.lg.jp/web/seisaku/seisaku01211999.html>

④ お問い合わせ

大和市 政策部 総合政策課 電話：046-260-5304

